

中間レポート課題

1. 試験実施日と場所

日時：6月16日（金）12:50 から 14:20

場所：第14講義室

2. 課題

以下の（1）～（4）の課題のうち2つを選び解答してください。ただし、課題の（5）は全員必須です。

（1）居住環境学専攻の学生である自分にとって、歴史を学ぶとは、どういうことなのであろうか？

例えば、次のような観点から考えてみよう。歴史を学ぶことは意味があるのか？もしくはないのか？居住環境学と歴史の関係はどのようなものか？どのような理由でそう考えたのか？

（2）人間が開発した、もしくは開発してきた技術は、今後、どのような方向に進むべきであろうか？

例えば、次のような観点から考えてみよう。もっともっと技術を進歩させるべきであろうか？その際には、どんなことを考慮しなくていけないのであろうか？技術の進歩は不要なのであろうか？技術者の好奇心にまかせるべきであろうか？どのような理由でそう考えたのか？

（3）これからの女性と建築（建築物そのもの、建築士、業界などを含めて）の関係は、どうあるべきであろうか？

例えば、次のような観点から考えてみよう。女性は、どのような分野で活躍できるのか？男性は、どのような分野で活躍できるのか？それとも、女性や男性などと言った性差は、建築の世界では無意味なものであろうか？さらには、性差ということ（もの、言葉）自体が無意味なものであろうか？どのような理由でそう考えたのか？

（4）前半の講義で提供された、上記（1）から（3）以外のお話を1つ取り上げ、それについて、自分の考えを述べてください。

これまで配布した資料、講義際にとったメモ、講義の最後に毎回提出している短い文章などを参考にみよう。

(5) 講義についての感想，意見，批判など，自由に。

- 注1) レポート試験の際には，何を持ち込んでもかまいません。ただし，試験時間中に学生同士で貸し借りすることは認めません。貸し借りが判明した場合は，カンニングとみなします。
- 注2) 上記の課題の「例えば，次のような観点から考えてみよう。」以下の文章は，あくまでも一つの「例」に過ぎません。自分独自の観点から作成された解答を強く望みます。例えば，図や表，絵や写真などを用いてもかまいません。なお，レポート試験中に，図や表，絵や写真を作成することは困難である可能性が考えられますので，文章以外のものについては事前に作成したものを解答用紙に添付して提出することを認めます。ただし，その場合はステープラーなどを持参し，解答用紙に添付できるように注意すること。試験中のステープラーなどの貸し借りは一切認めません。
- 注3) このレポート試験では，単なる感想や理由のない（もしくは，人を納得させることができないような）意見を求めている訳ではありません。例えば，課題に答える際に，最低でも1冊以上の文献（毎回の配付資料の載せた参考文献など）を読み，よく考え，人を納得させることができるように筋道を立てて，解答を作成してください。
- 注4) インターネットのホームページのコピーは認めません。判明した場合は，辻原担当分の評価を59点以下とします。ただし，レポートのどこからどこまでの部分が，どのホームページのどこからどこまでを引用したのかがわかるようにしてあれば，問題はありません。資料や書籍についても同様です。資料や書籍の内容を引用する際には，引用先を明示すること。